

# さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

## 香川県

2023 No.81

### 夏

# 文化は海に 生まれる。

山本忠司と瀬戸内海歴史民俗資料館



特集  
瀬戸内に好きな島がある  
何度でも島旅

知事対談  
株式会社ホケモン 最高ビジネス責任者(CBO) 香川県知事  
伊藤 憲二郎 × 池田 豊人

ヒト×モノ 讃岐デザイン  
香川の夏にクールな風が吹く  
むぎ漆ぼうし



### 「暮らし方の実験を、里山で試みる」

サイトウコーヒー  
齋藤 博史さん・優子さん

香川に住んで

はじめたこと



ヤギのまめちゃんの散歩兼食事タイム。神奈川県にいた頃から夫妻共に、ヤギを飼いたいと思っていた。息子さんもヤギが好き。

神奈川県に住んでいた齋藤さん夫妻。ただしく仕事に追われる都会とは違う暮らしをしたくなって地方移住を考え始め、暖かい西日本で幾つかの候補地を選び、実際に足を運んでみた。

友人の故郷だったことから訪ねた三木町は、和やかな田園と里山の風景や、接する人の素朴でウェルカムな雰囲気自分たちに合いそうだと感じた。移住したのは2016年。すぐに「獅子舞の練習を見たい」と近所の人から声を掛けられ、地域で盛んな獅子舞の組に参加すると、友人や先輩が一気に増えた。

町内の山あいにある古民



「くつろぎながらも、どこか背筋がピンと伸びるような空間を目指しています」と博史さん。常連客、ひとり客と、カフェ好きの県外客が多い。



アイスコーヒーと人気メニューのプリン。固めの食感と苦めのカラメルが好相性。敬愛する作家に作ってもらった器で。

「おいしいと思います」と語る二人。移住後に息子が生まれ、現在は3人家族。ヤギー一匹、ネコ二匹との暮らしは、これからはさまざまな実験や挑戦に満ちていることだろう。

齋藤博史さんは神奈川県、優子さんは山口県出身。移住前は博史さんは大病院の薬剤師、優子さんは保育士として働いていた。2014年頃から移住を検討し始め、三木町では空き家バンクで見つけた家に住んだ後、現在の古民家に引っ越した。

サイトウコーヒー  
香川県木田郡三木町大字鹿庭2022-1



最近、カフェの向かいで「サイトウ文庫」という古書店を開き、将来は農業への挑戦も構想中。「ここが暮らし方を見直したいと思う人の参考になればうれしいし、周りに移住仲間が増えたい」と語ります。



近所に書店がないので始めた「サイトウ文庫」。コーヒーと交換した絵本を置くことも。

家に引越越し、納屋をカフェにリノベーションして「サイトウコーヒー」を開いたのは2019年。夫妻はここを、無理をしない暮らし方や働き方、これからの時代に合う店の経営などを試みる場と考えている。店の営業は週2日だけ。博史さんはコーヒーを担当し、営業日以外は生豆の選別・焙煎を行いながら、薬剤師として薬局で週3日働く。優子さんはフードを担当し、営業日以外に仕込みを行う。食品ロスを防ぐためメニューの種類を絞って、適量を用意。「無駄のない小さな循環」となる経営を心掛け、絵本5冊と引き換えにコーヒーを一杯提供する物々交換も行っている。

## さぬき野 2023 夏 No.81

香川県に関する問い合わせ

香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3078  
香川県のホームページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/>  
さぬき野のページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/koho/sanukino.html>  
香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100  
香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけます。  
無料アプリ「カタログポケット」をインストールして「さぬき野」で検索してください。

iOS



Android



かがやくけん、かがわけん。

## 香川県

## 瀬戸内海建築憲章

瀬戸内海の環境を守り 瀬戸内海を構成する地域での環境と人間とのかかわりを理解し 媒介としての建築を大切にす。

人間を大切にすることから 建築を生み出し創り出すことを始める。

それには瀬戸内海の自然と環境を大切にし そこから建築を生み出すことにある。

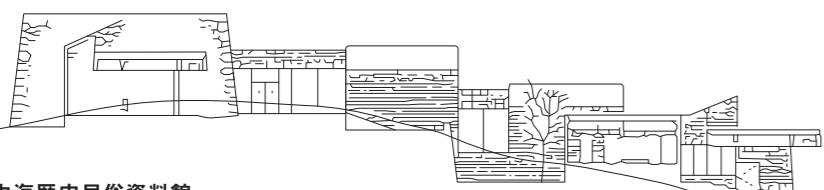
環境と建築とが遊離し 建築が独り歩きすることはない。先人たちのつくった文明を見定めこれを理解し 将来への飛躍のための基盤とし足がかりとする。

過去及び現代において 瀬戸内海が日本人のための文化の母体であったことを知るとともに それが世界に開けた門戸でもあったことを確認する。

すなわちわれわれは この地域での文明を守り それを打ち出していくことと併せて 広く世界へ目を開き 建築を通じて人類に貢献する。

1979年に山本忠司が起草し、翌80年に、山本忠司、松村正恒、浦辺鎮太郎、神代雄一郎の連名で発表された。

香川県庁の職員でありながら、いくつもの建築を手がけてきた異色の建築家・山本忠司。環境と人をつなぐものが建築であると考え、地域に根ざした建物を残してきた。とりわけ瀬戸内海への思いは強く、仲間と共に「瀬戸内海建築憲章」を提唱している。瀬戸内海国立公園の景勝地・五色台にある山本忠司設計の「瀬戸内海歴史民俗資料館」は、憲章で宣言した理念がそのまま形になった施設。「五色台にじかに根を生やしたよう」と評されたたたずまいは、年月を経てますます周辺の環境に溶け込み、ここにあることが自然であると思えるほどになった。竣工50年、そして山本忠司の生誕100年となる今年、あらためてその魅力に迫りたい。



瀬戸内海歴史民俗資料館

- 1973年 開館
- 1975年 日本建築学会作品賞受賞
- 1998年 公共建築百選に選出
- 2013年 2013年 DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選出

# 山本忠司と瀬戸内海

瀬戸内海歴史民俗資料館開館50周年





かつては瀬戸内に多く見られた船大工の造船現場が再現されている。



真ん中の一番大きい船が鯛釣り網漁の中心となる漁船(真網船)。この漁では真網船と逆網船の2隻で鯛を囲い捕った。

## 人々の暮らしから 瀬戸内海を知る

資料館といえば県や市町などの限られた地域を対象とすることが一般的だが、瀬戸内海歴史民俗資料館は、日本では数少ない広域資料館である。11府県にわたる「瀬戸内海」というエリアを対象として資料の収集と研究、展示を行っている。瀬戸内海は、古来より日本の物流の大動脈として暮らしに深く関わっており、ここで生まれ、育まれた文化や伝統は現代の生活のルーツともなっている。資料館に展示されているのは、瀬戸内海に暮らす人々が実際に使っていた道具や再現模型。中でも漁船数隻をそのまま展示している空間はスケールが大きく、見学者を圧倒する。この半世紀の文明の進歩は目覚ましく、収蔵を始めた開館当初の生活様式は過去のものとなり、ほとんど姿を消した。しかし展示品を通じて、かつての暮らしの工夫や今とは違う豊かさを知ることができる。収蔵資料のうち596点が国の重要有形民俗文化財に指定されている。瀬戸内海の文化を伝える貴重なアーカイブである。

# 海と人と 文化の記憶

## 展示品の向こうにある 情景が浮かぶ

瀬戸内海歴史民俗資料館は、展示品をきっかけにして当時の風俗を想像してもらえようように展覧が工夫されている。例えば、展示品の中で最大級となる全長12.5mの鯛網漁の漁船。エンジンがなく人力で動かされていたこと、それが約50年前まで現役であったことに驚かされるが、周辺に関連資料を展示することで鯛網漁のおもしろさも伝えている。何隻もの漁船が協力して網に鯛を追い込む大規模な漁は、瀬戸内海の春の風物詩であった。漁の様子を見るための観覧船が出るとの人気の、江戸時代には藩主も上覧していたという。現代に置き替えると、プロスポーツの観戦や野外ライブに近いエンターテインメントであろう。古びた一隻の漁船から、スケールの大きな情景が浮かび上がってくる。

展示品や資料が持っている情報を知るだけでなく、その背景にある人々の営みに興味を持つことで、資料館での時間は何倍も楽しくなる。想像力を働かせながら、ゆっくり見て回りたい。



**フナダマサン**  
サイコロ2つと紙人形が入っている。船の安全祈願。



**エベスサン**  
豊漁をもたらす神様。

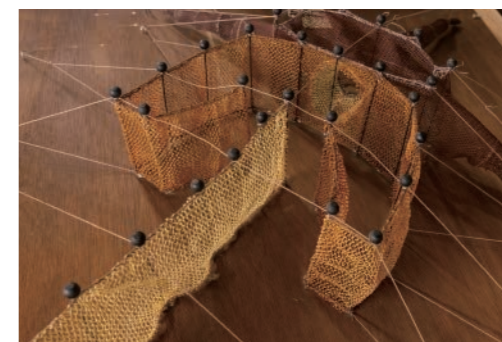
当時の鯛網漁の様子は、江戸時代後期の書物「讃岐国名勝図会」に描かれている。同じ図が、参考図版として資料館にも展示されている。  
出典／讃岐国名勝図会(国立公文書館デジタルアーカイブ)



**シルシバタ**  
大漁を知らせるための旗。



**ザイ**  
鯛網漁(右)、ボラ網漁(左)を指揮するための手旗。

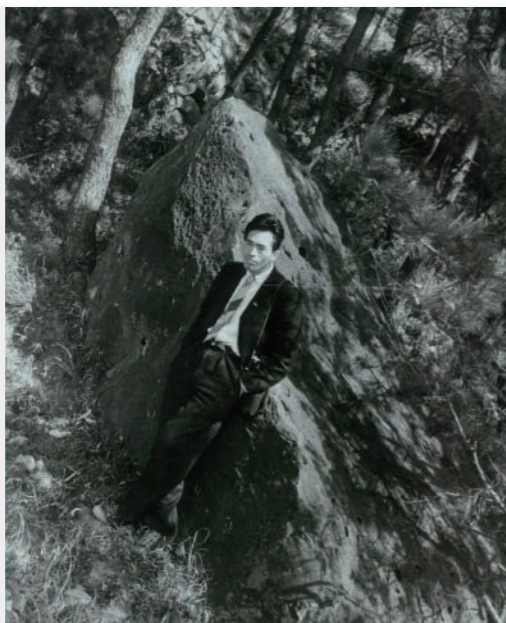


**樹網(小型定置網)模型**  
現在は魚の通り道に設置して鯛などを捕っている。



**ダスツキ**  
おとりに寄ってきたダス(標準名でダツ)という魚を突いて捕る漁具。

1923年、香川県大川郡志度町(現・さぬき市志度)生まれ。48年に京都工業専門学校(現・京都工芸繊維大学)建築学科を卒業し、香川県総務部営繕課技術吏員として入庁する。71年土木部建築課長、78年土木部次長、79年技監に就任。81年に香川県庁を退職し、85年山本忠司建築事務所を開設。98年に逝去。



香川県庁舎受付カウンター石材  
香川県立ミュージアム蔵

# 山本忠司生誕100年 世界につながる 瀬戸内への まなざし

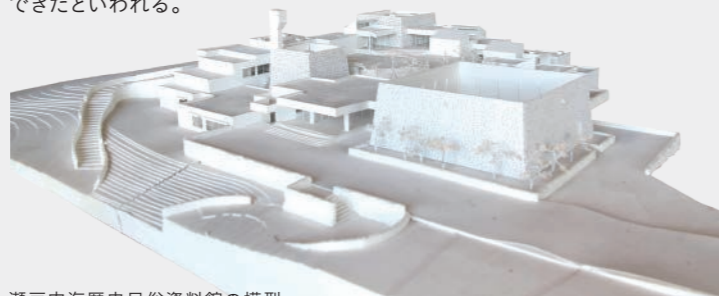
「デザイン知事」と呼ばれる金子正則が知事を務めた時代、丹下健三の香川県庁舎(現・東館)を筆頭に、大江宏や荻原義信など当代一流の建築家が設計した施設が建ち並び、高松市は「モダニズム建築の集積地」として注目された。山本忠司は県の建築技師としてそれら全てに携わり、世界基準のモダニズムと香川の石や木などの素材とそれを扱う技が、ひとつになる様を目の当たりにしていた。

地元香川に設計から手掛けた大規模建築を、という声に応え、県の建築課を率いて設計したのが瀬戸内海歴史民俗資料館だ。山と海と陽光を感じながら先人の文化に触れる方形の展示室が並び、石積みの外壁は、建設工事で掘り起こされたこの土地の石を使用。これほど斬新な建物を県の職員が設計するまでに、香川には建築への知見と情熱が蓄積している。そんな思いを訪れた人々に抱かせる施設になった。山本はこの建物で自治体職員として史上初の日本建築学会作品賞を受賞している。



「瀬戸内に根ざして、世界につながる」。山本は、モダニズムと地域文化の融合から得た建築哲学を、瀬戸内海建築憲章に込めている。文化の母体としての瀬戸内へのまなざしは、現代アートの祭典・瀬戸内国際芸術祭を通して、世界の人々が集う今へと、しっかりとつながっている。

香川県にアトリエを構えていた世界的彫刻家イサム・ノグチとも親交のあった山本。瀬戸内海歴史民俗資料館は、イサム・ノグチとのインド旅行で訪れた「インド経営大学」の建設現場でインスピレーションを得て、旅の帰途に原案ができたといわれる。



瀬戸内海歴史民俗資料館の模型。  
(設計時の図面を基に制作(1/100) 2017年) 京都工芸繊維大学松隈研究室製作・提供



窓越しに展示されている塩田の構造。



屋外の展示と合わせて、当時の塩田の様子がよくわかる。



遍路の道標  
中庭に展示されていて、順路を示しているように見える。

屋上から北東の眺め。東には里山の風景も。



階段を上って屋上へ。



雨乞竜の展示

## 内と外がつながる空間 ここだけの観覧体験

瀬戸内海歴史民俗資料館には、建物そのものにも魅力がある。まず、敷地が持つ7段の高低差をそのまま残しているのが環境を生かす山本忠司らしさである。その上で、大小の正方形の空間をつなげて、中庭をぐるりと囲む回遊式

の建物とした。上空からだだと、ブロック玩具を並べて作ったように見えるユニークな構造である。しかも、順路にそって歩いて行くと、中庭に出たり、建物の中に入ったりしながら進むことになる。中庭にも昔の道標などが自然な姿で展示されており、展示室の窓の外に屋外展示されている道具もある。内と外がつながる開放的な空間。観覧というより瀬戸内民俗ミニツアーとでもいうような楽しさである。途中では、ぜひ屋上の展望スペースに寄り道してほしい。瀬戸内海と島々、そして里山の両方を見渡すことができる。

環境と人をつなげるのが山本忠司の建築なら、海と人をつなげるのが展示されている道具たちである。共鳴する理念は、50年を経ても色あせない。



今行くべき旅先として、世界中から熱い視線を集める瀬戸内海の島々。島ごと  
に違った自然や文化も知られるようになり、「この島が好き」とお気に入りに入り  
見つける人も増えた。迎える島々でも、変化が起こっている。何度も訪ねたい、  
長く滞在すると楽しみが深まる。そんな島づくりが各所で進行中だ。

# 何度でも島旅

瀬戸内に好きな島がある



- 1 「鍛と本」のワークスペース。奥は、元々郵便局だった家屋の窓口部分。手前はミーティングができる。
- 2 晴耕雨読を表した「鍛と本」のロゴマーク。元郵便局なので、ガラス戸の棧が郵便マーク「〒」になっている。
- 3.4 ゲストハウスのスペース。子ども連れの家族、仕事仲間のワーケーションを想定し10人くらいまで宿泊できる。



## 男木島



## 本島

- 1.2 笠島地区のゲストハウス「Villa kasashima en. (ヴィラ・カサシマ・エン)」。デンマークの老舗家具ブランド「フリッツ・ハンセン」のインテリアに囲まれて宿泊できる。
3. 4. 5 港近くの「本島スタンド」は、北欧の椅子に座って海を眺め、本島産の魚や野菜を使った料理、島内醸造の「久福ブルーイング本島」のビールなどを味わえる。

瀬戸内海の島々とそこに暮らす人々を紹介し、旅のガイドとなる「せとうちスタイル」が、香川県で発行されている。「初めは美しい風景の一部だった島々が、島を訪ね、そこに暮らす人たちに会い、島の日常に触れることで、気が付くと、自分にとって忘れられない大切な場所になっている。瀬戸内では、そんな旅を経験できます。」  
(編集長/山本政子さん 発行/瀬戸内人)

人口約150人の小さな島は、移住者が多いことでも知られる。「旅で来て好きになり何度も訪ねてくれる人、それが高じて移り住む人、カフェや宿泊施設を開く人など、島外の人と深く関わり、島づくりに参加したくなるのも、男木島らしさ」。一度でも島のリズムで過ごせば、愛着が消えない。島出身の福井大和さんと、妻の順子さんは、島を訪れる人にもその魅力を伝えようと「鍛と本」を営んでいる。

香川県には、本島と男木島を含め24の有人島があり、それぞれ違って味わい深い。好きな島を見つけたら、何度も旅をしたくなる。

高 松港から40分の船旅で行く男木島。この島に来た旅人の多くは、庵治石造りの灯台を訪ね、その後は集落の細い路地を散歩して過ごす。どこからでも見える穏やかな海を眺め、路地横の家々から暮らしたの気配を感じ、島人とあいさつし、言葉

島の家屋と北欧インテリアの組み合わせは、ハツとする不思議な美しさ。本島に行きたい理由が、またひとつ加わった。

戦 国時代に水軍が活躍し、江戸時代は人名による自治が行われた塩飽諸島。その中心として栄え、歴史的建造物を訪ねる人が多いのが、丸亀市沖の本島だ。この島のカフェやバス停に、デンマークのデザインチェアが並び、北欧の風が吹いている。

これらは、香川県丸亀市で北欧インテリアを販売するCONNECTの高木智仁さんを中心に手掛けられている。港近くの食堂を受け継いでカフェレストランを開き、国指定の重要伝統的建造物群保存地区である笠島地区では、古民家を改修してゲストハウスをオープン。来年度には新たにレストランも開く計画だ。どの施設も北欧の家具や雑貨で彩られ、ゆったり心地よく過ごす場づくりが進んでいる。

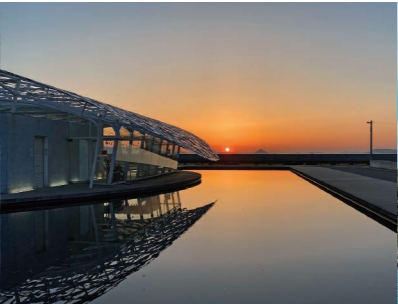
迷路のように延びる集落の細道。

島では、ゆっくり日が沈む。

西向きに集落があり、どの家の窓からも夕日が瀬戸内海に沈む絶景を望める。

塩飽大工の技が光る立派な家屋が立ち並ぶ笠島地区。

フリッツ・ハンセンの代表作セブンチェア。丸太に座面を載せた珍しいスタイルが点在する。





ヤドンは穏やかな香川の地で  
幸せに暮らしています。

ヤドンを香川県に  
お預けしたと思っています。

**知事** ゲーム、アニメ、グッズ、カードゲームなどのメディアミックス展開で今や世界中で人気のポケットモンスター（以後ポケモン）。今回はポケモンのプロデューサー、ブランドマネジメントのほか、関連事業を展開する株式会社ポケモンの最高ビジネス責任者（CBO）、伊藤憲二郎さんにお話を伺います。ポケモンとの縁は、2015年のエイプリルフル企画「ヤドン800匹脱走」に始まり、2018年には「ヤドン県に改名」を発表。その後「地域活性化に関する連携・協力協定」を締結し、ヤドンを「う

りますが、瀬戸内国際芸術祭で知られるように、代表的なものが「アート」です。実は香川県は、焼け野原となった戦後間もなく、天下の名園として知られる栗林公園内に、地方の公立美術館としては全国初の高松美術館（高松市美術館）をオープンさせたアート県でもあるのです。県内には直島の地中美術館、高松市のイサム・ノグチ庭園美術館をはじめ、数多くの美術館や名建築が存在します。また、県立の工芸高校があり、工芸科では漆芸、金属工芸、インテリアを学ぶ学生が所属し、毎年アートを支える人材を多く輩出しています。

株式会社ポケモン  
最高ビジネス責任者（CBO）

## 伊藤 憲二郎

1988年に株式会社リクルート入社。2000年に株式会社ポケモンへ入社。海外事業、ライセンス事業、映画プロデュースなどを経て、現在は同社にて、Pokémon GO推進室、ビジネス本部を担当、あらゆるポケモンコンテンツ事業と、そのブランドマネジメントに携わる。

どん県PR団」に任命されました。その後のヤドンは県産品振興や観光事業（14面参照）に大活躍です。

**伊藤** 株式会社ポケモンは、1996年のゲームボーイ用ソフト「ポケットモンスター赤・緑」を原点として、ポケモンを全世界に広げようと取り組んでいます。その活動の「環」が「ポケモンローカルActs」です。各県で推しポケモンを設定し、県産品とのコラボレーショングッズを作ったりサービスを提供したりすることによって地域を活性化し、ポケモン全体の人気も高めたいと願っています。現在8道県で展開していますが、いつかは47都道府県、また全世界の地域とも何らかの取り組みができればと考えています。実はこの活動、香川県が最初なんです。非常に好調に推移し他県にも広がることになり、原点である香川県には、末永くお付き合いをいただきたいです。

**知事** 「ヤドンは、「うどん」との語感だけでなく、しつぽをかじると甘いとか、あくびをす

### 知事対談 伊藤 憲二郎 × 池田 豊人

ITO KENJIRO

IKEDA TOYOHITO

## 「ヤドン県」が結んだご縁を大切に 新たな魅力が続々と生まれる「うどん県」

**伊藤** それはぜひ、工芸高校の生徒さんたちにヤドンをテーマにした作品を制作していただきたいですね。

**知事** それはいいですね。地元で愛されるアートのイベントになりそうです。

**伊藤** アートは旅の動機になりますが、実はポケモンも旅の動機になるという実績があります。ポケットモンスター関連商品を取りそろえた「ポケモンセンター」は、海外の方が日本の旅で行きたい場所として毎年上位に選ばれています。また、香川県に行けばヤドンの「ポケふた」※があるのと知って、香川の各地を巡り写真を撮ったという話も聞いております。

**知事** うどん県、アート県と共にヤドン県も今や香川の顔の一つとなり、今年の3月には小豆島と兵庫県を結ぶ航路にヤドンのフェリー2号船が就航。4月にはヤドンの遊具をご寄贈いただき、綾川町に「ひだまり公園あやがわ」、通称「ヤドン公園」がオープンしました。県内18個目のヤドンのポケふたもありますので、ぜひお立ち寄りいただきたい。

ると雨が降るとか、香川県との相性は抜群ですね。正月のあん餅雑煮、伝統の甘味・和三盆、希少糖など、個性豊かな甘味を有する香川県です。また、晴れの日が多く、無形文化遺産に登録された「念仏踊」などの雨乞い踊りを伝えてきた歴史があります。そうした風土を背景に、ヤドンのコラボ商品は、うどんにそうめん、和三盆、オリブオイルといった食品。また香川漆器・庵治石、うちわ、張子など、伝統的工芸品にまで広がりました。香川県は「ヤドン県」を名乗る前に「うどん県」それだけじゃない香川県」を宣言しました。いろいろな魅力があ



2023年4月に香川県にオープンした「ひだまり公園 あやがわ」通称「ヤドン公園」にて。

**伊藤** 伝統的な四国遍路とはまた違いが、楽しみとしてポケモンの関連するスポットを巡るような人がたくさん現れてくれるのは、とてもいいことだと思います。デジタルの仮想空間だけではなく、アナログの現実空間も同時に豊かにしていきたいというのが株式会社ポケモンの社でもあります。

**知事** 素晴らしいことですね。ゲームやアニメは、すでに世界から注目される日本文化です。で、これを動機として香川県にもどんどんお越しいただきたい。今年には弘法大師空海生誕1250年で、誕生の地である総本山善通寺をはじめ四国遍路も活気づいているようすが、これに加えてヤドン巡礼で香川を楽しむ方々がお越しくださるのなら、これはまたうれしいことです。そこで、また違う世界の人々に四国遍路に関心を持っていただけるのなら、香川のみならず四国にとつて良い効果が生まれることでしょう。今後ともヤドンをこ縁に、新たな提案やアドバイスをお願いいたします。本日は貴重なお時間の中、ありがとうございました。

※ 今回の対談は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、十分な距離を確保した上で、行いました。

※ ポケモンをデザインしたマンホール。香川県では17市町全てに設置されており、現在18種類ある。



# 香川の夏に クールな風が吹く

むぎ漆ぼうし

高橋 大介  
松本 光太

昭和40年代頃まで麦の産地として名をはせていた香川県。麦の穂から讃岐うどんが生まれ、麦わらからは帽子が生まれた。香川県観音寺市は麦わら帽子の生産地で、大正から昭和にかけて帽子作りの店が軒を並べていた。ところが、今では観音寺市内に2軒のみとなる。伝統の技を守るべく生まれた「むぎ漆ぼうし」の完成までを追う。

丸高製帽所の麦わら帽子は、創業当時からのミシンを使い、国産で精巧な極細7ミリの麦稈真田<sup>※1</sup>を、わずか2ミリの縫い代で頭頂部からぐるぐると丁寧な縫い上げて作る。人の手でカーブを作った帽子は、頭にフィットし驚くほど心地よい。空気を含んだ天然の麦を編み込んだ細い麦稈真田で作られる麦わら帽子は、通気性が良く、涼しさが格段に違う。ところが、このミシンで縫える人物が高齢の女性一人になってしまった。その現実を目の当たりにした高橋大介さんは、家業を継ぐことを決意。丸高製帽所の四代目候補として3年前に入社し、こつこつ帽子作りを学ぶ。しかし、OEM<sup>※2</sup>や布帽子の製造が主流となった今、評価してくれる人がいなければ伝統的な技は途絶えてしまう。新たな一手を打ち出したいと悩み、伝統工芸の力を借りて香川県にしかない麦わら帽子を作りたいと願うようになった。

令和2年に香川県の地域産業資源に指定された観音寺市の「麦わら帽子」と、香川漆器の共に優れた技のコラボレーションで誕生した「むぎ漆ぼうし」。



## 高橋 大介

1979年香川県観音寺市生まれ。2020年、15年勤めた地元印刷会社を退職し父が営む丸高製帽所に入社。2021年BEAMS JAPAN(ビームス ジャパン)からチューリップハットを発売。2022年「むぎ漆ぼうし」が令和4年度かがわ県産品コンクール知事賞(最優秀賞)受賞。

有限会社丸高製帽所  
香川県観音寺市坂本町3丁目2番65号  
TEL 0875-25-2367  
<https://marutakaseibousyo.com/>



長年作り続けている小学生用の黄色い通学帽の仕上がりの良さが認められ、BEAMS JAPANから発売された大人もかぶれる通学帽風チューリップハット。



輸入品や紙素材のものに押され貴重となった国産、天然の麦わら帽子。熟練の技により手の感覚のみで形づくられていく。

## 松本 光太

1974年愛媛県で誕生。生後すぐに香川県高松市に転居。香川県立高松工芸高等学校、香川漆器研究所を卒業。重要無形文化財保持者・磯井正美に師事し、2009年「香川文化芸術新人賞」受賞。2010年瀬戸内国際芸術祭「漆の家プロジェクト」に参加。2012年「さぬきうるしSinra」設立。現在、日本工芸会 正会員。香川県伝統工芸士。

さぬきうるし Sinra  
香川県綾歌郡綾川町畑田3399  
TEL 087-810-1327  
<https://sinra.official.ec/>



県産品の一つである庵治石の粉を漆に混ぜて塗る「石粉塗」の手法で誕生した「ISHIKO」シリーズ。驚くほど軽くて丈夫、傷や指紋もつきにくい。



人の縁を大切にしたいので、何事にもチャレンジしてきたという松本さん。器に限らずお面やギターなど、個性的な作品を創り出す。

「帽子作りの技は、一日や二日で覚えられないものではないですね。一年一年と技を磨いていくものです。ですから長く従事してもらえれば地元の人の頼りになります。だからこそ地元の人に頼りませんでした。それでいて今まで見たことのない帽子を作りたいと思ったんです」と思いがほとぼしる高橋さん。白羽の矢が立ったのが、香川県の伝統工芸品の代表とも言える香川漆器の技。引き

受けてくれたのは、漆の新たな世界を開きたいとチャレンジを続けている「さぬきうるしSinra」の松本光太さんだった。最初に高橋さんから話を聞いた松本さんは「麦わら帽子でヘルメットを作りたいのか。それも面白い」と胸中でつぶやいたという。例えば漆は竹で編んだ籃胎<sup>らんたい</sup>という素地をかたく丈夫にするために塗り重ねるときにも用

いる。そこで、柔らかい麦わらをかたくするならできると思ったのだ。ところが話は真逆だった。麦わら帽子の通気性としなやかさを保つたまま、美しく仕上げたいという。これには「とにかくやってみる」としか答えようがなかった。松本さんの試行錯誤が始まり、塗り方乾かし方に工夫を重ねては、高橋さんと出来上がりを確かめ合う。そうして、一歩ずつ進んでいった先にやっとな世に出せるものが姿を現した。漆は令和3年度の研究で抗菌効果があることが証明<sup>※3</sup>されている。麦わら帽子は水に弱いものだが、漆のコーティングにより、雨にも汗にも強い帽子となった。つまり、夏の頭を心地よく守る快適な麦わら帽子が完成したのだ。そして、香川県が主催する令和4年度かがわ県産品コンクールに出品、見事知事賞に輝く。チャレンジを絶やさない高橋さんと松本さん二人の協業によって、香川ならではの麦わら帽子は誕生した。新時代を生きる人々の柔らかい頭を守り、ステキな風を吹かせてほしいと願う「むぎ漆ぼうし」である。

※1 麦わらを平らにつぶし真田紐(さなだひも)のように編み上げた紐状のもの。  
※2 「Original Equipment Manufacturing(Manufacturer)」の略。他社ブランドの製品を製造すること。  
※3 令和3年度に経済産業省と日本漆器協同組合連合会が事務局となり設置された「うるし振興研究会」が、食中毒に起因する4種類菌の面で漆の抗菌性を検証した結果、非常に有効であることが分かった。抗ウイルス(SARS-CoV-2)性についても、24時間後には約99.7%が不活性化(死滅)する。

# 香川愛媛 せとうち旬彩館

東京・新橋アンテナショップ

特産品ショップ、郷土料理、観光情報コーナーで 香川の旬をぜひどうぞ。

注目はこれ!

## 1F せとうち旬彩館の人気商品をご紹介します!

1F「特産品ショップ」では、香川・愛媛合わせて約1,500点の特産品を取り扱っています。今回は、2022年度の香川の特産品の人気商品ベスト10をご紹介します。

1位

希少糖 芋けんぴ (中野製菓)



2位

瀬戸内海苔 はねだし お得パック (金丸水産乾物)



4位 あん餅(かねすえ)

5位 生うどん(日の出製麺所)

6位 さぬき骨付鶏(さぬき鳥本舗)

7位 瀬戸内レモンケーキ(ちきりや)

8位 伊吹いりこ(大久)

9位 しょうゆ豆(大西食品)

10位 ちりめんくぎ煮(岡田食品工業)

3位

観音寺(白栄堂)



## 2F スイーツメニューを始めます! NEW

郷土・せとうち料理「かおりひめ」、「工芸品・雑貨ショップ」の運営事業者が変わり、4月12日から営業を再開しました。これに伴い「かおりひめ」では、7月からアフタヌーンティータイム(14時~16時半の間)を新たに始めます。香川・愛媛の果物等を使ったおいしいスイーツやお茶が楽しめるセットメニューが登場します。



※写真はイメージです。

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1・2階  
https://www.setouchi-shunsaikan.com  
観光情報コーナー TEL03-3574-2028

## 香川を盛り上げるやっん ヤドンパラダイス in 香川 2023

今年も「うどん県PR団」として活躍中のポケモンの「ヤドン」が香川県を盛り上げます。

現在開催中の「ヤドンパラダイス in 香川 2023」では「ヤドンといっしょ! 香川めぐり旅」として、ヤドンと関係する宿泊施設や公共交通機関(「ヤドンのお宿」や「ヤドンのタクシー」など)と寒霞渓や栗林公園といった県内の観光スポットをめぐるスタンプラリーを開催中です。スタンプを集めて応募すると、抽選で豪華賞品が当たります。

この他にも、イベントなども開催予定です。詳細については特設サイトをご確認ください。

【問い合わせ】

(公社)香川県観光協会 TEL087-832-3379  
特設サイト <https://yadon.my-kagawa.jp>  
公式Twitter [https://twitter.com/Udonken\\_Yadonbu](https://twitter.com/Udonken_Yadonbu)

特設サイト



©Pokémon/Nintendo/CR/GF

## こだわりの香川県産品が集うマルシェ さぬきマルシェ in サンポート

「さぬきマルシェinサンポート」は、香川県産にこだわり、香川県らしい食や工芸、生産者、飲食店などの魅力を伝えるため、毎月第3日曜日にサンポート高松周辺で開催しています。

毎回「麦とパン」や「発酵」などといったテーマを設けて、さまざまな食文化を紹介しています。旬の県産品を販売しているのはもちろん、生産者が商品のこだわりやおいしい食べ方などを対面で直接伝えながら販売するので、新たな香川の魅力を発見することができます。また、定期的にワークショップも開催しています。香川の魅力的なものが集まる「さぬきマルシェinサンポート」へ、ぜひお越しください。

【開催日時】 毎月第3日曜日 10:00~15:00(予定)

※ 荒天の場合は翌週に延期

【会場】 サンポート高松周辺

【問い合わせ】 香川県産品振興課 TEL087-832-3383

詳細はこちら



## 2023年7月7日(金)~7月9日(日) 県HPページID 35318 G7香川・高松都市大臣会合が 開催されます

推進協議会SNSでは、G7や都市大臣会合についてのQ&A、開催地の魅力や取り組みを発信しています。ぜひご覧ください。

推進協議会 Twitter



2022年G7サミットの様子(出典:首相官邸ホームページ)

【問い合わせ】 G7香川・高松都市大臣会合推進協議会 TEL087-832-3867

## おかげさまで35周年 県HPページID 17204 瀬戸大橋開通35周年記念イベント

4月10日に開通から35周年を迎えた瀬戸大橋。これを記念して「瀬戸大橋スタンプラリー」を開催中です。観光施設や道の駅など県内20カ所のスタンプ設置施設で2カ所以上のスタンプを獲得した方の中から抽選で瀬戸大橋にまつわるツアーや、香川県のご当地グルメが当たります。



- ・開催期間：令和5年5月21日(日)~7月31日(月)
- ・スタンプ設置施設：与島PA、香川県内の観光施設など20カ所
- ・応募条件：与島PA(1個)+その他のスタンプ設置施設(1個)  
⇒合計2個以上スタンプを集めた方(与島PAは必須です)
- ・主催:香川県
- ・共催:本州四国連絡高速道路株式会社

【問い合わせ】 香川県交通政策課 TEL087-832-3134

県HPページID 香川県ホームページのトップページ上部にある「ページID検索」に番号を入力するだけで該当ページをご覧いただけます。

(注)掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。

## 花いけにかける高校生を応援してください! 県HPページID 40395 「高校生花いけバトル」への ガバメントクラウドファンディングを募集



高校生2人組のバトラーが花をいけ、対戦する。即興で花をいける、その時間はわずか5分間。「全国高校生花いけバトル」は、流派、所属、部活動などの枠を超え、高等学校に在籍している生徒の皆さんならどなたでも参加することができる大会です。

今回「第七回全国高校生花いけバトル」を開催するにあたり、一般の皆さまにも寄付を通じて運営に参加いただき、大会を盛り上げるとともに、花への関心を高めていただきたいの思いから、ガバメントクラウドファンディングによる支援をお願いすることとしました。

香川大会は令和5年8月19日(土)、ユーブラザウたづハーモニーホールで、全国大会は令和6年2月4日(日)、レクザムホール大ホールで開催されます。(大会詳細:<https://hs.hanaikebattle.com/>)

次代を担う高校生たちの、花いけにかける青春を応援してください!

【ガバメントクラウドファンディング申込方法】  
下記アドレス、または二次元コードから申し込んでください。  
(募集期間:令和5年7月14日(金)~10月12日(木))  
[https://www.furusato-tax.jp/gcf/?top\\_gcf\\_gcf](https://www.furusato-tax.jp/gcf/?top_gcf_gcf)



【問い合わせ】 全国高校生花いけバトル実行委員会事務局 TEL087-832-3419

香川県ホームページ

